

青森県から北海道へ

氏名 中野 綾

青森県平川市立碓ヶ関中学校 → 北海道室蘭市立桜蘭中学校
(期間：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

1 青森県の教育

○ 令和2年度の施策の4つの柱

・青森県では、教育行政における重要課題のうち特定のテーマを当該年度の「施策の柱」として設定し、選択と集中による施策の重点化を図りながら、各地域の教育関係者が相互に理解、連携し合い、教育施策を推進している。

① 学ぶ意欲の向上と主体的に探究する人づくり

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うなど確かな学力の向上を図る。

また、グローバルな視野をもち、情報活用能力などの新しい時代に求められる資質・能力を身に付けた子どもたちを育成する。

【具体的事業の一部紹介】

- グローバル社会を主体的に生き抜く人材育成事業（新規）
- 青森県英語教育連携推進事業（継続）
- 学びの質を高める授業改善プロジェクト事業（継続）

② 子どもを守り支える安全・安心な教育環境づくり

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置等によるいじめ問題や不登校等に対する相談支援体制や、特別な教育的支援が必要な児童生徒への支援体制の充実を図る。また、学ぶ意思のある子どもたちが必要な教育の機会を得られるよう、高校生に対する就学支援等を行う。

【具体的事業の一部紹介】

- 居場所づくり・絆づくり推進事業（新規）
- 教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業（拡充）
- あおもりっ子育てプラン21（継続）

③ あおもりを理解し地域で活躍する人づくり

児童生徒のふるさとに対する誇りや愛着心を醸成するとともに、学校、地域、県内企業、関係団体とのネットワークの強化を図るなど、子どもたちの将来の県内定着に向けた取組を推進する。

【具体的事業の一部紹介】

- 高校から取り組む人口減少対策プロジェクト事業（新規）
- 地域と連携したキャリア教育推進事業（継続）

④ スポーツの振興と文化財の保存活用

幼少期からの体力向上、肥満防止、運動不足解消に向けて、年間を通じてスポーツに親しめる環境づくりを促進する。また、郷土の文化財を知り、魅力を発信できる人材を育成する。

【具体的事業の一部紹介】

- 楽しさアップ！子どもの健康づくり事業（新規）
- 「選ばれる三内丸山遺跡」魅力発信推進事業（新規）
- みんなが主役！スポーツで健康づくり事業（継続）

2 学校や地域の特色ある教育活動

○ 「SUGIFU（杉生）スクラム」

- ・ 碓ヶ関地区には、認定こども園、小学校、中学校が近距離に各1校ずつあり、幼保小中の一貫した教育を展開できる環境にあり、連携教育を推進している。地域清掃のクリーン作戦を合同で実施している。

○ 縦割り活動の充実

- ・ 運動会では、赤組、白組に分かれ、第3学年生徒が中心となり、主体的に第1、2学年生徒をまとめている。文化祭では、ねぶたの製作過程で、第3学年生徒が第1学年生徒に教え、ねぶたの製作技術を後輩たちに伝えている。第3学年生徒にとっては、縦割り活動を通し、リーダーとして成長するいい機会となっている。



3 私が取り組んできた実践

○ ALTと学習支援員の活用

- ・ 生徒が意欲的に学習に取り組めるように、ALTや学習支援員と生徒の学習状況について情報交換をし、きめ細かな指導を心掛けている。

○ 体験的な学び

- ・ 毎年、国際交流事業で、アメリカメイン州カムデンから生徒10名と引率教員2名が来校し、ねぶた絵製作やねぶた運行などを通して、生徒と交流している。
- ・ 事後活動として、交流したアメリカの生徒と文通をしている。
- ・ 文通を通し、英語を媒体として互いの思いを伝える楽しさを実感させている。

